

# 感染症対策指針

特定非営利活動法人なないろサポートネット  
O h a n a ケアセンター

事業所は、利用者の健康と安全を守るための支援が求められる介護保険・障害福祉サービス事業者として、感染を未然に防止し、発生した場合は感染症が拡大しないよう、速やかに対応する体制を構築するとともに、利用者の健康と安全を継続的に守るため、本指針を定める。

## 1. 基本的な考え方（目的）

感染予防・再発防止対策および集団感染事例発生時の適切な対応など、事業所における感染対策の体制を確立し、適切かつ安全で質の高い支援の提供を図ることを目的とする。

## 2. 感染予防・再発防止対策および集団感染事例発生時の適切な対応等の整備

### （1）平常時の対策

- ① 「感染対策委員会」を設置・運営し、適正な感染予防・再発防止策等を整備する態勢の構築に取り組む。
- ② 職員の清潔の保持及び健康状態の管理に努め、特に、従事者が感染源となることを予防し、利用者および従事者を感染の危険から守ることを目的とした「感染対策指針」を整備する。  
また、「日常支援にかかる感染管理」として、以下の項目を定める。  
イ) 利用者の健康管理  
ロ) 職員の健康管理  
ハ) 標準的な感染予防策  
ニ) 衛生管理
- ③ 職員教育を組織的に浸透させていくため、全職員を対象に年1回以上の「研修」（含む入職時）を定期的に実施する。
- ④ 平時から実際に感染症が発生した場合を想定し、感染症発生時において、迅速に行動できるよう、発生時の対応を定めた指針に基づき、全役職員を対象に年1回以上の「訓練」を定期的に実施する。
- ⑤ 感染対策委員会を中心に感染に関する最新の情報を把握し、研修や訓練を通じて課題を見つけ出し、定期的に指針を見直し「指針の更新」を行なう。

## (2) 発生時の対応

- ① **発生状況の把握**・・・日常の業務に関して感染事例または感染おそれのある事例（以下「感染事例等」という。）が発生した場合には、感染対策マニュアルや業務継続計画（BCP）に従い、直ちに「発生状況の把握」に努める。
- ② **感染拡大の防止**・・・感染事例等が発生後は、「感染拡大の防止」として、以下の防止策を実施する。
  - イ) 生活空間・動線の区分け（ゾーニング・コホーティング）
  - ロ) 消毒
  - ハ) ケアの実施内容・実施方法の確認
  - ニ) 濃厚接触者への対応など
- ③ **報告**・・・感染事例等が発生後は、必要に応じて施設長など管理者と協議の上、感染対策業務継続（BCP）等に則り、以下の「医療機関や保健所、行政関係機関との連携」のためにすみやかに報告を行う。
  - イ) 医療機関： 名称・連絡先
  - ロ) 保健所： 秋田中央保健所福祉環境部・018-855-5170
  - ハ) 指定権者： 鴻上市社会福祉課障がい福祉班 018-853-5301 など
- ④ **報告**・・・感染事例等の発生後は、必要に応じて管理者と協議の上、感染対策業務継続（BCP）等に則り、以下の「報告」をすみやかに行う。
  - イ) 社内： 代表 佐藤 操 018-874-8644
  - ロ) 利用者家族： など

## <変更・廃止手続>

本方針の変更および廃止は、委員会の決議により行う。

## <附則>

本方針は、2024（令和6）年4月1日から適用する。